

2026年春季大会

会 期：2026年5月27日(水)～29日(金)
会 場：パシフィコ横浜

2026年3月1日

会員各位

公益社団法人自動車技術会
会長 中畔 邦雄

2026年春季大会を5月27日(水)～29日(金)の3日間にわたり、パシフィコ横浜にて開催いたします。

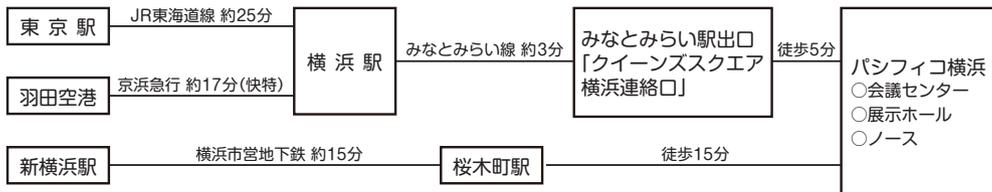
本大会では、学術講演会や自動車技術展のほか、Keynote Address、自動車技術会賞授賞式、JSAE Annual Party、学生ポスターセッションなど、会員の皆様にご満足いただけるよう、多彩なプログラムをご用意いたしました。

学術講演会では92セッション・462件の講演発表、人とくるまのテクノロジー展2026 YOKOHAMAでは、600社以上による展示を予定しております。

皆様のご参加をお待ちいたしております。



パシフィコ横浜へのアクセス



※駐車場は有料となります。



目次

| | |
|--|---|
| 会長挨拶 | 1 |
| 目次..... | 2 |
| 2026 年春季大会概要 | 3 |
| 参加者へのご案内／各イベントのご案内..... | 4 |
| ① 学術講演会 | |
| ② 第 76 回自動車技術会賞授賞式・第 17 回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式・ 優秀講演発表賞授賞式（2025 年春季・秋季大会学術講演会） | |
| ③ 第 16 回定時総会 | |
| ④ Keynote Address | |
| ⑤ JSAE Annual Party（技術者交流会） | |
| ⑥ 第 11 回学生ポスターセッション | |
| ⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会 | |
| ⑧ 第 8 回若手・中堅技術者交流会 | |
| ⑨ 自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA | |
| ⑩ フォーラム | |

| 行事名 | 参加登録／参加費 | 27日(水) | 28日(木) | 29日(金) |
|---|-------------------------------------|--------|--------|--------|
| ① 学術講演会 | 要／有料 ※参加資格により参加費が異なります | ● | ● | ● |
| ② 第76回自動車技術会賞授賞式 第17回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式(2025年春季・秋季大会学術講演会) | ————— | | ● | |
| ③ 第16回定時総会 | ————— | | ● | |
| ④ Keynote Address | 無料 ※学術講演会か展示会の参加証をお持ちください | | ● | |
| ⑤ JSAE Annual Party (技術者交流会) | 要／有料 | | ● | |
| ⑥ 第11回学生ポスターセッション | 不要／無料 ※発表者は要参加登録／有料 | ● | ● | ● |
| ⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会 | 要／無料 ※当日参加も歓迎 | | ● | |
| ⑧ 第8回若手・中堅技術者交流会 | 要／無料 | | | ● |
| ⑨ 自動車技術展： 人とくまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA | 要／無料 | ● | ● | ● |
| ⑩ フォーラム | 要／無料 | ● | ● | ● |

2026年春季大会ウェブサイト  <https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/>

学術講演会について

2026年春季大会学術講演会は、**実地開催のみ**となります。

また、講演者の許可を得た講演は後日録画配信でご視聴いただけます。

- ① 実地会場で聴講される方は、必ず大会ウェブサイトで事前に参加登録を行ってください。
当日会場での受付は行っておりませんのでご注意ください。
 - ② 参加登録者の特典は以下のとおりです。
 - ・ 講演予稿集の閲覧、ダウンロード
 - ・ 後日録画配信による講演の視聴
 - ③ 後日録画配信は大会終了後、1週間を目途に開始し、1か月間公開いたします。
 - ④ 配信期間中も参加登録を受け付けます。参加登録費は①と同額です。
- ※詳細については、上記の2026年春季大会ウェブサイトをご覧ください。

学術講演会講演予稿集

学術講演会の参加登録費には講演予稿集が含まれます。

入手方法：

電子ファイル形式での提供となります。

聴講者専用ページから「学術講演会」にアクセスいただきダウンロードください。

※聴講者専用ページは参加登録完了時に送信されるメールよりアクセスいただけます。

※予稿集の公開は5月22日(金) 10:00AMを予定しております。

参加者へのご案内

① 学術講演会

有料/参加登録要

5月27日(水)～29日(金) 各講演会場

92 セッション・462 講演 ※最新の状況はウェブサイトをご覧ください。
 タイムテーブル (随時更新) : <http://gakkai-web.net/jsae/s/2026/program>

| | 早期参加登録 | 通常参加登録 |
|---------------------------------|---|--|
| 登録期間 | 3月上旬～5月18日(月) | 5月19日(火)～7月3日(金) |
| 登録方法 | ウェブサイトでの事前登録のみ | ウェブサイトでの事前登録のみ |
| 参加登録費 正会員 学生会員 賛助会員・一般 | 8,000円(不課税) 3,000円(不課税) 22,000円(税込) | 10,000円(不課税) 3,000円(不課税) 24,200円(税込) |
| 支払方法 | ①クレジットカード決済 ②銀行振込 ③コンビニ決済 | クレジットカード決済 |
| 支払期限日 | ①～③すべて5月18日(月) ※期限日までに支払が完了しなかった場合、お申込は無効となります | 登録時 |
| キャンセル時の返金 | 5月18日(月)まで全額返金 ※返金手数料除く | 返金なし |

※現地での参加登録受付は行っておりません。当日参加される場合も事前にウェブサイトで登録されるようお願いいたします。

参加登録～会場での受付までの流れ ※現地参加者向け



② 第76回自動車技術会賞授賞式・第17回技術教育賞授賞式 自動車エンジニアレベル認定者記念品授与式 優秀講演発表賞授賞式 (2025年春季・秋季大会学術講演会)

受賞者および関係者

5月28日(木) 13:00~14:00(予定) 会議センター3F 301+302

第76回自動車技術会賞(学術貢献賞/技術貢献賞/浅原賞学術奨励賞/浅原賞技術功労賞/論文賞/技術開発賞), 第17回技術教育賞, 優秀講演発表賞(2025年春季・秋季大会学術講演会)の授賞式, 自動車エンジニアレベル認定者への記念品の授与式を行います。

③ 第16回定時総会

代議員の方のみ

5月28日(木) 14:15~15:55(予定) 会議センター3F 301+302

議決事項: 2025年度決算報告の件
2026-2027年度理事選任の件
2026-2027年度監事選任の件
名誉会員推薦の件
役員報酬等の件
報告事項: 2025年度事業報告の件
2026年度事業計画の件
2026年度予算の件

④ Keynote Address

無料 ※学術講演会(有料)か展示会(無料)の参加証をお持ちください

5月28日(木) 17:00~18:00 会議センター1F メインホール

テーマ [Human-AI Integration]

講師: 暦本 純一 氏 (東京大学)

司会: 藤本 直也 氏 (日産自動車/総務担当理事)

企画: 運営企画会議

講演要旨:

従来のヒューマン・コンピュータ・インタラクション (HCI) は, 人間と機械のインターフェースに着目する研究分野であるのに対し, 私はテクノロジーによって人間の能力を拡張する「ヒューマン・オーグメンテーション (Human Augmentation)」というアプローチを提唱している。Human Augmentationで拡張される人間能力の対象は, 身体拡張にとどまらず, 存在, 感覚, 認知などの知的能力を含む。

このような拡張の概念は, 個人のレベルにとどまらず, テクノロジーと人間とがネットワーク上で相互に接続され, 相補的に能力を高め合う未来社会, 「能力のインターネット (Internet of Abilities, IoA)」の構想へと発展する。このIoAの枠組みにおいては, 人間と人工知能 (AI) が高度に統合された「人間-AI統合 (Human-AI Integration)」の実現が志向される。

本講演では, 音声を発することなく意思伝達を可能にする「サイレント・スピーチ」や, 人間の視覚情報と実世界のエージェントとが融合する「技能伝達システム」といった事例を紹介し, 人間とテクノロジーとの関係の未来的展望について論じる。



⑤ JSAE Annual Party (技術者交流会)

有料/要登録

5月28日(木) 18:15~19:45 会議センター3F 301~304

技術者, 展示会出展社の方々が交流を深める機会として JSAE Annual Party を開催いたします。

| 参加費 | |
|----------|-------------|
| 正会員・賛助会員 | 8,000円(税込) |
| 学生会員 | 3,000円(税込) |
| 一般 | 10,000円(税込) |

⑥ 第11回学生ポスターセッション

無料/不要 *発表者は有料/要登録

5月27日(水)~29日(金) ノース 3F フォワイエ+G311

<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/student-poster-entry/> (3月中旬頃開設予定)

大学生・大学院生・高等専門学校生の学生の皆様に、自身の専門研究の内容や日頃の取組みをポスターにまとめて掲示・発表していただきます。(発表予定数:70件程度)

ポスター発表を通じて、学生と企業エンジニア、研究者の方、また学生同士での交流と人材育成の場・機会を提供します。優れた発表には優秀賞を授与いたします。

【スポンサー企業募集中】

本催事をご支援いただける企業スポンサー様を募集しております。自動車業界の将来を担う優秀な学生人材との出会いのきっかけとなる特典を多数ご用意しています。詳細は上記WEBサイトをご参照ください。各社様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

企画:教育会議 学生活動企画委員会

⑦ 自動車業界ウェルビーイングラボ by 女性技術者の会推進委員会

無料/要登録(当日参加も歓迎いたします)

5月28日(木) 12:30-15:00 会議センター 3F 315

テーマ「自動車業界における、“ウェルビーイング”について考えてみませんか?」

すべての技術者がイキイキと働くために、みんなで、自動車業界における、“ウェルビーイング”について考えます。男性のご参加も歓迎いたします。

<予定プログラム>

パネルディスカッション

意見交換

*会場およびプログラム内容は今後変更となる可能性がございます。

当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/woman/>) を随時更新しますので、ご確認ください。

⑧ 第8回若手・中堅技術者交流会

無料/要登録

5月29日(金) 10:00~17:00 会議センター 3F 315

本交流会は、同業他社や異業種の会員との交流を通じて、自身の価値観との違いに気づいてもらうことを目的としています。

テーマを「最新技術に触れ合い、語り合おう!」とし、同日に開催している人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA を見学した後、グループディスカッションを行います。

対象:33歳以下の正会員

企画:総務委員会

詳細は当会ホームページ (<https://www.jsae.or.jp/assoc/hrd/exchange/young/>) をご確認ください。

⑨ 人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA

無料/要登録

5月27日(水)・28日(木)・29日(金) 10:00~17:00 展示ホール・ノース・アネックスホール

<https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/> *ご来場の際は展示会サイトでの来場登録が必要です(4月上旬開始予定)

本年も展示ホール+ノース1Fホールを利用し、昨年と同規模で開催します。

600社以上の出展社の展示の他、JSAE企画展示「新しい技術との融合で創るクルマとモビリティの未来—DXと共創で確信する自動車技術—」や同テーマのJSAE企画講演、新車開発講演などの主催者企画も実施いたします。

また同時開催の「人とくるまのテクノロジー展 2026 ONLINE STAGE1(会期:5/19~6/9)」では、出展技術の検索や見学リスト作成、マップ・マッチング機能など、展示会をより一層楽しんでいただく為の仕掛けをご用意しております。

展示会来場前後の情報収集に是非ご活用ください!

5月27日(水)～29日(金) アネックスホール F203, F204, F205+206

プログラム詳細はフォーラム(2026年度)サイトをご覧ください。
<https://www.jsae.or.jp/assoc/event/gakkai/forum/2026ver/>

フォーラムテキストについて

多くのご要望にお応えし、今年の会場販売テキストは、「冊子 + 電子ファイル」をセットでお届けします！
 お値段は据え置き。ハイブリッドな使い心地をぜひその手に。

■販売場所：アネックスホール フォワイエ Book Store

■価格

| 会員種別 | 大会会場販売 ^{*1} 冊子 + 電子ファイル | 大会終了後販売 ^{*2} 電子ファイルのみ |
|------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 会員 | 3,300～4,400 円 (税込) ^{*3} /1 冊 | 3,520 円～ 5,280 円 (税込)/1 冊 |
| 一般 | | 4,400 円～ 6,600 円 (税込)/1 冊 |

^{*1} 大会期間中、会場でのみ(冊子 + 電子ファイル)版を販売します。大会期間中の特別価格になります。

^{*2} 大会終了後は、本会サイト/文献情報検索システムから、電子ファイル版のみ購入いただけます。

^{*3} 大会期間中は、会員資格を問わず同じ価格で購入いただけます。

📅 5月27日(水) 開催

Y-1. モータースポーツ技術と文化

5月27日(水)9:30-13:00 アネックスホールF203+F204

モータースポーツが誕生以来担ってきた、「次世代技術の創出」そして「車の面白さを伝える」役割が改めて大事になっている。本フォーラムでは、これらを広く、特に若者に向けて発信することを目的とする。「モータースポーツを通じた人材育成」や「走りを支えるタイヤ開発」などの講演に加え、現役ドライバーへのインタビュー講演を予定している。

企画：モータースポーツ部門委員会

Y-2. サークュラーエコノミーとリサイクル価値
～指標を中心に～

5月27日(水)14:00-17:30 アネックスホールF203+F204

サーキュラーエコノミーの実現に向けた議論として、リサイクル価値との関係性を深掘りすることを目的とする。共通ルールの策定、情報共有プラットフォームの構築や、製造者・消費者、異業種間が連携するビジネスモデルなどを、専門家・実務家による話題提供とパネルディスカッションを通して議論する。

企画：リサイクル技術部門委員会

Y-3. 高度自動運転へ互いにわかりあえるクルマを目指して

5月27日(水)9:30-12:50 アネックスホールF205+F206

自動車における自律・自動運転技術の革新により、車載機器や新たなサービス、AIを用いた制御プロセスなど、自動車技術のあり方が大きく影響を受け始めている。本フォーラムでは、安全で信頼できる自律・自動運転の実現に必要な、車が自ら考え、運転者や周囲と協調する技術について議論し、近未来技術やその可能性を紹介し、将来の方向性について考える。

企画：エレクトロニクス部門委員会
自動運転技術部門委員会

Y-4. 電化道路(走行中ワイヤレス給電)とスマートモビリティ社会に向けた最近の動向

5月27日(水)14:00-17:30 アネックスホールF205+F206

脱炭素社会のインフラとして期待される電化道路(ERS)構築に向けた、国内外での実証・実装の動向を紹介する。走行中給電に留まらず、電化道路、電力エネルギーマネジメントシステム、国際標準など関連分野の動向と将来像を解説・紹介し、2050年のe-モビリティ社会を考える上で貴重な機会となる。

企画：ワイヤレス給電システム技術部門委員会

5月28日(木) 開催

Y-5. 現役エンジニアから若者へ送るメッセージ ～エンジニアの道 × 二輪の未来～

5月28日(木) 14:00-17:30 アネックスホールF203

モーターサイクルは持続可能なモビリティ社会において必要不可欠な乗り物であり、「人馬一体」と言われる「楽しさ」が魅力である。本フォーラムでは、各完成車メーカーや部品メーカーで活躍している現役エンジニアが、若いエンジニアや学生に、モーターサイクルづくりならではの面白さややりがいについてお話しする。

企画：二輪車の運動特性部門委員会

Y-6. 社会変革と次世代のモビリティ

5月28日(木) 14:00-17:30 アネックスホールF205+F206

CASE や MaaS による産業融合に加え、DX・GX による社会変革、AI や デジタルツインといった先端技術の革新が進む中で、自動車技術の革新と社会実装に向けて議論を行う。本フォーラムでは、自動車分野に加えて、交通工学や医学、情報学、経営学、法学等といった広範囲の話題について多面的に議論を行う内容となっている。

企画：モビリティ社会部門委員会

5月29日(金) 開催

Y-7. 自動車のサイバーセキュリティ最前線

5月29日(金) 9:30-11:30 アネックスホールF203

自動車の SDV (Software Defined Vehicle) 化が進展する中、国際法規・規格 (UN-R155 や ISO/SAE 21434 など) に基づき、車両のライフサイクル全体でのセキュリティ対策が求められている。本フォーラムでは、最新のインシデント事例や標準化動向を共有し、関係者が連携して安全なモビリティ社会の実現を目指す。

企画：サイバーセキュリティ講座企画委員会
サイバーセキュリティ技術部門委員会

Y-8. モデルベース開発とモデル流通による自動車開発の革新に向けて

5月29日(金) 13:30-17:00 アネックスホールF203

自動車開発における要求の高度化・複合化、開発期間短縮、AI などの革新技術取り込みの必要性から、モデルベース開発 (MBD) と他部署・他社とのモデル流通への期待が高まっている。本フォーラムでは、AI 応用、MBD や国際規格 FMI・SSP、vECU、欧州事例、産学での MBD・AI 応用事例などを紹介し、今後の自動車開発の革新について俯瞰・議論することを狙いとする。

企画：自動車制御とモデル研究部門委員会

Y-9. 『共創』『連携』AI・デジタルツインで描く未来のモノづくりとコトづくり

5月29日(金) 9:00-12:30 アネックスホールF204

生成 AI や GX 技術の進展による自動車産業の転換期において、『共創』『連携』をキーワードに次世代の生産技術動向と、2055 年を見据えた『モノづくりからコトづくり』の成果を共有し、未来の自動車技術について議論を深めることを期待している。

企画：生産加工部門委員会

Y-10. マルチパスウェイを支えるカーボンニュートラル燃料のエンジン燃焼シミュレーション技術の最前線

5月29日(金) 13:30-17:00 アネックスホールF204

カーボンニュートラル社会実現に向けたマルチパスウェイ燃料 (合成燃料、バイオ燃料、水素燃料、アンモニア燃料など) を活用した内燃機関の高度化には、高精度なシミュレーション技術が不可欠である。本フォーラムでは、燃焼解析、反応モデル、ノック予測などの最新技術を紹介し、産学官の連携による技術開発の加速と、持続可能なモビリティ社会の構築に貢献することを目的とする。

企画：CFD 技術部門委員会

Y-11. 持続可能な自動車社会が不確実な状況下、我々技術者はどう立ち向かうべきか?

5月29日(金) 9:00-12:30 アネックスホールF205+F206

カーボンニュートラルへの取組みが加速する中で、モビリティは技術のみならず利便性や経済合理性も満足しなければならない事が分かってきた。本フォーラムでは、AI や CASE といった急速に進化する技術と共に、エネルギーから社会環境まで、幅広い領域の専門家にご登壇いただき、持続可能な自動車社会の実現に向けた最新動向や今後の課題について議論する。

企画：持続可能な自動車社会検討部門委員会

Y-12. 持続可能なモビリティ社会を実現する材料技術の最新動向

5月29日(金) 13:30-16:55 アネックスホールF205+F206

電動化、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミー、LCA など、自動車の大変革期を担う材料技術の最新動向に焦点をあてる。本フォーラムでは、鉄鋼・軽金属・化成品分野について、自動車・材料メーカー関係者に加え、日本鉄鋼協会などとの合同企画として基礎研究者も迎え、自動車用材料技術の方向性を共有することを目的とする。

企画：材料部門委員会

会員特典!! JSAE 会員ラウンジへお越し下さい!

2026 年春季大会会期中に会員特典である JSAE 会員ラウンジを開設致します。

会員特典として個人会員の方は会員証を提示して JSAE 会員ラウンジに入室頂ければ、無料でコーヒー・紅茶・緑茶・水が飲み放題です。(セルフ方式)

会員ラウンジには電源タップも設置しておりますので、PC、スマートフォン等の充電やメールチェック等の作業も可能です。セッションの合間や会員同士の交流にご利用下さい。

なお、**当日 Web で入会申請頂ければその場で利用可能となりますので、非会員の方も是非この機会にご入会下さい。**

39 歳以下の方なら今年度会費無料キャンペーン実施中で大変お得です!

会員証を持って JSAE 会員ラウンジへ Go !

開設期間：5 月 27 日 (水) ~ 29 日 (金)

開設時間：27 日 8:00 ~ 17:00

28 日 8:30 ~ 17:00

29 日 8:30 ~ 18:00

会 場：パシフィコ横浜 アネックスホール 2F フォワイエ

提供内容：コーヒー、紅茶、緑茶、水、PC 電源



5月27日(水) 2026年春季大会タイムテーブル

| 会場 | パシフィコ横浜 ノース | | | | | | | | | | アネックスホール | 展示ホール | 会議センター | | | | | |
|-------|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|--|--|---------------------|----------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------------------------------|-------|
| 9:00 | G301+G302 (3F) | G303 (3F) | G304 (3F) | G314+G315 (3F) | G316+G317 (3F) | G318+G319 (3F) | G401+G402 (4F) | G403 (4F) | G404 (4F) | G414+G415 (4F) | G416+G417 (4F) | G418+G419 (4F) | G311 (4F) | F203 | F205 | F206 | 10:00 | 17:00 |
| 9:30 | 車両の運動と制御 I No. 1 (OS) 講演件数: 5件 11:35 | 最新の駆動騒音・音質技術 I No. 4 (OS) 講演件数: 4件 11:10 | 車載ソフトウェア技術 I - 設計開発手法と検証 No. 7 (OS) 講演件数: 6件 12:10 | 蓄電システム技術の新展開 I No. 10 (OS) 講演件数: 4件 11:10 | 水素・燃料電池技術 No. 14 (OS) 講演件数: 6件 12:10 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 I - デジタル認証から量産化技術まで No. 17 (OS) 講演件数: 5件 11:35 | 先進火花点火機関 I - 燃焼 & 本体 No. 20 (OS) 講演件数: 4件 11:10 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 I - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 24 (OS) 講演件数: 5件 11:35 | ドライバの状態評価とセンシング No. 27 (OS) 講演件数: 6件 12:10 | 金属材料 No. 30 講演件数: 6件 12:10 | 先進ディーゼル機関技術 I No. 33 (OS) 講演件数: 4件 11:10 | Circular Economyにおけるリサイクルの価値 No. 36 (OS) 講演件数: 6件 12:10 | 学生ホタルセッション 10:00 | モータースポーツと文化 13:00 | クルマを動かすドライブを駆動する自律走行を実現して 12:50 | クルマを動かすドライブを駆動する自律走行を実現して 12:50 | 人とくるまのテクノロジー展 2026 YOKOHAMA 10:00 | 17:00 |
| 13:00 | 車両の運動と制御 II 12:35 | 最新の駆動騒音・音質技術 II No. 5 (OS) 講演件数: 5件 14:15 | 車載ソフトウェア技術 II - ソフトウェア基盤 No. 11 (OS) 講演件数: 4件 13:50 | 蓄電システム技術の新展開 II No. 11 (OS) 講演件数: 4件 13:50 | 走行中給・充電 I No. 15 (OS) 講演件数: 5件 13:15 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 II - デジタル認証から量産化技術まで No. 18 (OS) 講演件数: 5件 14:40 | 先進火花点火機関 II - CN 燃料 No. 21 (OS) 講演件数: 5件 14:15 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 II - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 25 (OS) 講演件数: 4件 14:15 | 自動運転/運転支援システムのHMI No. 28 (OS) 講演件数: 6件 15:50 | デザイン(スタイリング)と技術の接点 No. 31 (OS) 講演件数: 5件 15:15 | 先進ディーゼル機関技術 II No. 34 (OS) 講演件数: 5件 14:15 | 自動車セキュリティ技術 I No. 37 (OS) 講演件数: 3件 14:25 | 13:00 | 14:00 | 12:50 | 17:30 | 17:00 | |
| 15:00 | 車両の運動と制御 III No. 2 (OS) 講演件数: 6件 15:15 | 最新の駆動騒音・音質技術 III No. 6 (OS) 講演件数: 4件 16:25 | 車載ソフトウェア技術 III - ソフトウェア基盤 No. 8 (OS) 講演件数: 7件 16:15 | 蓄電システム技術の新展開 III No. 12 (OS) 講演件数: 4件 16:00 | 走行中給・充電 II No. 16 (OS) 講演件数: 4件 17:25 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 III - デジタル認証から量産化技術まで No. 19 (OS) 講演件数: 5件 17:15 | 先進火花点火機関 III - CN 技術 No. 22 (OS) 講演件数: 3件 16:00 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 III - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 26 (OS) 講演件数: 5件 16:50 | 自動運転/運転支援システムのHMI No. 28 (OS) 講演件数: 6件 15:50 | CO ₂ 分離・回収技術 No. 32 (OS) 講演件数: 5件 17:50 | 先進ディーゼル機関技術 II No. 35 (OS) 講演件数: 7件 17:50 | 自動車セキュリティ技術 II No. 38 (OS) 講演件数: 3件 16:10 | 15:00 | 16:00 | 17:30 | 17:00 | 17:30 | |
| 17:00 | 車両の運動と制御 No. 3 (OS) 講演件数: 6件 18:25 | 最新の駆動騒音・音質技術 No. 9 (OS) 講演件数: 4件 18:25 | 車載ソフトウェア技術 - ソフトウェア新技術 No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 蓄電システム技術の新展開 IV No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 走行中給・充電 III No. 16 (OS) 講演件数: 4件 17:25 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 IV - デジタル認証から量産化技術まで No. 19 (OS) 講演件数: 5件 17:15 | 先進火花点火機関 IV - 要素技術 No. 22 (OS) 講演件数: 3件 16:00 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 IV - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 26 (OS) 講演件数: 5件 16:50 | 自動運転/運転支援システムのHMI No. 28 (OS) 講演件数: 6件 15:50 | CO ₂ 分離・回収技術 No. 32 (OS) 講演件数: 5件 17:50 | 先進ディーゼル機関技術 II No. 35 (OS) 講演件数: 7件 17:50 | 自動車セキュリティ技術 II No. 38 (OS) 講演件数: 3件 16:10 | 17:00 | 18:00 | 18:25 | 17:30 | 17:00 | 17:30 |
| 18:00 | 車両の運動と制御 No. 3 (OS) 講演件数: 6件 18:25 | 最新の駆動騒音・音質技術 No. 9 (OS) 講演件数: 4件 18:25 | 車載ソフトウェア技術 - ソフトウェア新技術 No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 蓄電システム技術の新展開 IV No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 走行中給・充電 III No. 16 (OS) 講演件数: 4件 17:25 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 IV - デジタル認証から量産化技術まで No. 19 (OS) 講演件数: 5件 17:15 | 先進火花点火機関 IV - 要素技術 No. 22 (OS) 講演件数: 3件 16:00 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 IV - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 26 (OS) 講演件数: 5件 16:50 | 自動運転/運転支援システムのHMI No. 28 (OS) 講演件数: 6件 15:50 | CO ₂ 分離・回収技術 No. 32 (OS) 講演件数: 5件 17:50 | 先進ディーゼル機関技術 II No. 35 (OS) 講演件数: 7件 17:50 | 自動車セキュリティ技術 II No. 38 (OS) 講演件数: 3件 16:10 | 17:00 | 18:00 | 18:25 | 17:30 | 17:00 | 17:30 |
| 19:00 | 車両の運動と制御 No. 3 (OS) 講演件数: 6件 18:25 | 最新の駆動騒音・音質技術 No. 9 (OS) 講演件数: 4件 18:25 | 車載ソフトウェア技術 - ソフトウェア新技術 No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 蓄電システム技術の新展開 IV No. 13 (OS) 講演件数: 4件 18:10 | 走行中給・充電 III No. 16 (OS) 講演件数: 4件 17:25 | MBDによるデジタルルイン技術の拡大 IV - デジタル認証から量産化技術まで No. 19 (OS) 講演件数: 5件 17:15 | 先進火花点火機関 IV - 要素技術 No. 22 (OS) 講演件数: 3件 16:00 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 IV - タイヤのメカニズムと将来に向けて No. 26 (OS) 講演件数: 5件 16:50 | 自動運転/運転支援システムのHMI No. 28 (OS) 講演件数: 6件 15:50 | CO ₂ 分離・回収技術 No. 32 (OS) 講演件数: 5件 17:50 | 先進ディーゼル機関技術 II No. 35 (OS) 講演件数: 7件 17:50 | 自動車セキュリティ技術 II No. 38 (OS) 講演件数: 3件 16:10 | 17:00 | 18:00 | 18:25 | 17:30 | 17:00 | 17:30 |

講演時間：25分（講演 15分、質疑応答 10分）
 講演取下げ等により、スケジュールは変更になることがあります。
 一部後日録画配信がない講演があります。詳細は下記 URL の開催概要、プログラムからご確認ください。また今後、変更になる場合がございます。
<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/outline/>

5月28日(木) 2026年春季大会タイムテーブル

| 会場 | パシフィコ横浜 ノース | | | | | | | | | | アネックスホール | 展示ホール | 会議センター | | |
|-------|--|---|--|---|--|---|---|--|---|--|---|---|----------------------|------------------------------|-------------|
| | G301+G302 (3F) | G303 (3F) | G304 (3F) | G314+G315 (3F) | G316+G317 (3F) | G318+G319 (3F) | G401+G402 (4F) | G403 (4F) | G404 (4F) | G414+G415 (4F) | G416+G417 (4F) | G418+G419 (4F) | G311 7F/15F | F203 F204 F205 F206 | 315 (3F) |
| 9:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9:30 | 最新の振動騒音・音質技術 IV No. 39 (OS) 講演件数: 5件 | カー・ゼ・ニュートラに資する熱・流体技術 II -最新の流体技術- No. 41 (OS) 講演件数: 5件 | 車載ソフトウェア技術 III -ADAS・自動運転- No. 43 (OS) 講演件数: 6件 | 衝突安全 (乗員・交通弱者保護) No. 44 (OS) 講演件数: 5件 | 持続可能な自動車社会の展望 No. 46 (OS) 講演件数: 5件 | 安全一般 No. 48 講演件数: 6件 | 車両の運動制御 IV No. 50 (OS) 講演件数: 7件 | ドライバの知覚・認知・感情 No. 52 (OS) 講演件数: 5件 | 次世代の燃料・潤滑油・トワイボロン技術 No. 54 (OS) 講演件数: 7件 | 次世代の自動車用材料と先進生産技術 II No. 56 (OS) 講演件数: 5件 | 電化道路 (走行中給電) の最新技術 No. 59 (OS) 講演件数: 5件 | 社会変革と次世代のモビリティ No. 61 (OS) 講演件数: 5件 | 学生セミナーセッション 10:00 | | |
| 10:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 10:30 | 最新の振動騒音・音質技術 V No. 40 (OS) 講演件数: 7件 | カー・ゼ・ニュートラに資する熱・流体技術 III -カー・ゼ・ニュートラに資する伝熱技術- No. 42 (OS) 講演件数: 5件 | インバクトバリオメカニクス No. 45 (OS) 講演件数: 4件 | 欧州・アジアにおける車両気流・標準化の動向 No. 47 講演件数: 5件 | 予防安全と運転支援システム I No. 49 (OS) 講演件数: 7件 | タイヤ/路面摩擦特性とその周辺技術 IV -タイヤのメカニクスと将来に向けて- No. 51 (OS) 講演件数: 4件 | ドライバ行動の分析とモデル化 No. 53 (OS) 講演件数: 6件 | CN 社会を支えるガス燃料そのエンジン技術 I No. 55 (OS) 講演件数: 4件 | デジタル AI が実現する新モビリティ社会 -AIのリアルワールド実装への期待とその課題- No. 58 (OS) 講演件数: 4件 | 次世代の自動車用材料と先進生産技術 III No. 57 (OS) 講演件数: 4件 | ワイヤレス給電の最新動向と応用展開 No. 60 (OS) 講演件数: 4件 | リサイクル・コーティング材料 No. 62 講演件数: 7件 | | | |
| 11:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 12:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 14:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 15:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17:30 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 18:00 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 19:00 | | | | | | | | | | | | | | | |

講演時間：25分 (講演 15分, 質疑応答 10分)
 講演取下げ等により、スケジュールは変更になることがあります。
 一部後日録画配信がない講演があります。詳細は下記 URL の開催概要、プログラムからご確認ください。また今後、変更になる場合がございます。
<https://www.jsae.or.jp/taikai/2026haru/outline/>

